

2021 年度政務活動の概要

2021 年 4 月～2022 年 3 月

会派名 品川・生活者ネットワーク

調査研究費 支出額 25,890 円

主な支出項目

- ・品川区聴覚障害者協会との意見交換のため、品川区障害者地域活動支援センター逢「あえる」に手話通訳者の派遣を依頼。手話通訳者の交通費実費も支払った。(手話通訳料 5000 円×2 名=10,000 円 交通費 280 円 7/26)
- ・2022 年度品川区の予算案について、講師を招き、概要案をもとに学習会を開催した。(講師料 5000 円 2/7)
- その他：品川区や東京都に対し、積極的に情報公開請求の制度を活用した。(情報公開に関わる費用 5750 円)

研修費 支出額 21,523 円

主な支出項目

・2022 年度は、子どもの自殺や性被害、ヤングケアラーの問題など若年層が直面する課題について、支援団体等が開催する学習会に積極的に参加した。

例えば、「不適切指導を考えるシンポジウム 3～子どもの自殺が起きた時、学校は何をしてきたか」(受講料 730 円 1/22)、「子どもたちの今。そしてこれから Part2～男子が性被害を言い出しづらい 5 つの理由～部活で起きる性的暴行～」(受講料 1220 円 2/6)。ヤングケアラー学習会「ケアを担う子どもや若者の現状について」(参加費 1000 円。振込手数料 262 円)

・また、品川区の予算について学習する前に、国の予算や東京都の予算の考え方や中止すべき点を確認するための連続学習会に参加し、予算特別委員会での質問に活かした。(受講料 5000 円、振込手数料 262 円 1/24～2/3)

・毎年、継続して参加している福島復興の現状を知るための講座「福島シンポジウム 福島第一原発事故～あれから 10 年、これからの 10 年～」に参加した。(受講料 2775 円 交通費 387 円)

○学習会への参加報告の詳細は議会事務局に提出してあります。確認の際には議会事務局にて情報公開請求手続きが必要です。

資料費 支出額 58,141 円

主な支出項目

書籍代：「子どものトラウマがよくわかる本」、「トラウマのことが分かる本」、「法と実務 17」、「生徒指導提案」、「自治から考える『自治体 DX』」、「個人情報保護法改正に自治体はどう向き合うべきか」、「情報システムの標準化・共同化を自治の視点から考える」、他。

また、品川区の大気中の有害化学物質の実態を知り政策提案につなげるために、PRTR データ解析書を購入した。

広報・活動費 支出額 3,740,687 円

主な支出項目：活動報告の印刷・配布に要した費用 3,655,426 円 メガホンとマイク 54,450 円、活動に要した交通費 30,811 円

事務費 支出額 126,442 円

主な支出項目：資料作成に関わる印刷・コピー代、事務用品など

人件費 支出額 603,000 円

主な支出項目：広報・広聴活動準備や PC 作業など